



平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 株式会社マルハニチロホールディングス
コード番号 1334 URL <http://www.maruha-nichiro.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久代 敏男

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 川 文人

TEL 03-6833-0826

四半期報告書提出予定日 平成23年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	402,339	0.7	10,205	24.7	8,630	37.3	2,473	11.6
23年3月期第2四半期	405,201	0.0	8,185	86.5	6,284	99.3	2,216	13.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,852百万円 (%) 23年3月期第2四半期 600百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.86	4.55
23年3月期第2四半期	4.20	3.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	478,977	72,572	12.5
23年3月期	474,281	71,671	12.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 60,010百万円 23年3月期 58,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期				3.00	3.00
24年3月期					
24年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	825,000	0.2	16,000	8.1	13,000	13.8	4,000	10.9	7.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、〔添付資料〕P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	510,024,159 株	23年3月期	508,574,884 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

24年3月期2Q	385,683 株	23年3月期	371,184 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	509,045,808 株	23年3月期2Q	508,229,056 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第一種優先株式					
23年3月期				20.00	20.00
24年3月期					
24年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きもみられました。しかしながら、急速な円高の進行や欧米の財政不安などにより景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界のうち、水産・食品業界におきましては、デフレの影響を受け、厳しい状況で推移しました。

このような状況のもとで、当社グループは震災で被害を受けた事業施設の復旧に取り組むと共に、持続可能でバランスの取れた事業構造の確立など将来への布石作りを行うため、本日（平成23年10月31日）公表の新中期三ヵ年経営計画「ダブルウェーブネクスト（2011-2013）」を策定しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、効率的な販売及び固定費の削減に努めた結果、売上高は402,339百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は10,205百万円（前年同期比24.7%増）、経常利益は8,630百万円（前年同期比37.3%増）となり、震災による災害損失など特別損失の発生により四半期純利益は2,473百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

水産事業

水産セグメントは、国内外の漁業・養殖事業、すりみの生産販売を中心とした北米事業、海外調達ネットワークを持つ水産商事事業、市場流通の基幹を担う荷受事業、市場外流通を受け持つ戦略販売事業から構成され、国内外の市場動向を注視しながらお客様のニーズに対応した加工事業の推進と効率的な仕入れと販売を行い、収益の確保に努めました。

漁業・養殖事業では、漁撈事業はカツオ漁が低調であったものの買付カツオの取扱い増加、日本海マグロ・メロ・カニの好漁と単船まき網漁船の減価償却費の減少により収益が改善、養殖事業はマグロの魚価上昇により増益、全体でも増益となりました。

北米事業は、アラスカズワイガニの増枠による増産及び価格高騰に加え、ベーリング海スケソウダラ漁獲枠の大幅増によるすりみの増産、取扱増により単価下落を補い、増収増益となりました。

水産商事事業は、加工事業と末端販売の強化を推進、市況は全体的に堅調に推移し、エビ・サケ・カニ・マグロ・特種商材等の主要商材の販売が順調に推移し、増益となりました。

荷受事業は、市場流通の販売不振により扱い数量が減少するなか、販売費等の経費削減により、減収増益となりました。

戦略販売事業では、量販・生協向け鮭鱒や凍魚の切り身関係の販売が好調に推移すると共に、外食・中食業態向け新規取引先の開拓が進み、増収増益となりました。

以上の結果、水産セグメントの売上高は251,634百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は5,544百万円（前年同期比71.0%増）となりました。

食品事業

食品セグメントは、市販用及び業務用冷凍食品の製造・販売を行う冷凍食品事業、缶詰・フィッシュソーセージ・ちくわ・デザート・ペットフードなどの製造・販売を行う加工食品事業、畜産物及び飼料を取り扱う畜産事業、化成品・調味料・フリーズドライ製品の製造・販売を行う化成品事業並びにアジア・オセアニア事業から構成され、お客様のニーズにお応えする商品の開発・製造・販売を通じて収益の確保に努めました。

冷凍食品事業は、米飯や冷凍野菜などが好調に推移したことから売上高は前年並みを確保いたしました。利益面では石巻、仙台の生産拠点における震災の被害が甚大だった影響などから減益となりました。

加工食品事業は、飲料の受託製造を行っていた山形の生産拠点を整理した影響などで減収となりましたが、利益面では震災により缶詰などの常温品が見直され、販売が好調だったことなどから増益となりました。

畜産事業においては、食肉事業を中心に営業力強化を図り増収となりましたが、豚肉を始めとする輸入食肉の価格上昇を受け、利益幅が圧縮されたことより減益となりました。

化成品事業はバイオ関連製品が震災に伴う需要増から増収となりましたが、フリーズドライ製品と調味料の生産拠点が被災したことから減収となりました。利益面ではバイオ関連製品の増収に伴い、増益となりました。

アジア・オセアニア事業は、タイからの日本向け冷凍食品や缶詰の輸出が拡大するなど好調に推移し、原材料価格の上昇や人件費の高騰など厳しい事業環境でしたが、売上拡大により増収増益となりました。

以上の結果、食品セグメントの売上高は140,277百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は5,301百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

保管物流事業

お客様の物流コスト削減による在庫圧縮の傾向が続くなか、水産物をはじめ畜産品や冷凍食品の集荷に注力した営業活動を行いました。

冷蔵保管事業は、大型センターを中心に予定通り集荷が進んだこともあり、前年より高い水準の在庫数量で推移いたしました。

輸配送事業や通関事業などの周辺事業もほぼ順調に推移し、保管物流セグメントの売上高は7,326百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は620百万円（前年同期比84.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は478,977百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,696百万円増加いたしました。これは主として売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

負債は406,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,794百万円増加いたしました。これは主として仕入債務の増加によるものであります。

少数株主持分を含めた純資産は72,572百万円となり、前連結会計年度末に比べ901百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

主として、水産事業のうち水産商事事業において主要商材の販売が順調に推移したことや、食品事業に対する震災の影響が想定よりも小さかったことにより、通期の営業利益及び経常利益をサマリー情報「3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）」のとおり修正いたします。当期純利益につきましては、第2四半期連結累計期間に震災による損失などを計上したため、変更はありません。

なお、本日（平成23年10月31日）「平成24年3月期 第2四半期（累計）業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,492	15,416
受取手形及び売掛金	89,224	95,881
有価証券	35	34
たな卸資産	110,122	117,815
その他	20,837	19,497
貸倒引当金	△853	△852
流動資産合計	238,859	247,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,354	48,130
土地	60,711	60,430
その他(純額)	28,267	29,187
有形固定資産合計	137,333	137,748
無形固定資産		
のれん	19,629	18,982
その他	7,251	7,008
無形固定資産合計	26,881	25,990
投資その他の資産		
投資有価証券	28,051	27,476
その他	54,667	51,786
貸倒引当金	△11,511	△11,818
投資その他の資産合計	71,207	67,444
固定資産合計	235,421	231,183
資産合計	474,281	478,977
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,571	36,273
短期借入金	189,829	199,985
未払法人税等	3,200	1,508
引当金	3,258	1,963
その他	31,283	35,050
流動負債合計	256,143	274,781
固定負債		
長期借入金	108,973	95,978
退職給付引当金	26,564	27,220
その他の引当金	438	330
その他	10,490	8,093
固定負債合計	146,466	131,623
負債合計	402,610	406,404

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,000	31,000
資本剰余金	31,699	31,699
利益剰余金	8,190	8,999
自己株式	△64	△65
株主資本合計	70,826	71,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,130	△2,393
繰延ヘッジ損益	△24	△37
為替換算調整勘定	△9,697	△9,191
その他の包括利益累計額合計	△11,852	△11,622
少数株主持分	12,697	12,562
純資産合計	71,671	72,572
負債純資産合計	474,281	478,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	405,201	402,339
売上原価	349,054	344,778
売上総利益	56,146	57,561
販売費及び一般管理費	47,960	47,355
営業利益	8,185	10,205
営業外収益		
受取配当金	739	636
雑収入	842	1,027
営業外収益合計	1,582	1,663
営業外費用		
支払利息	2,139	1,942
為替差損	583	1,009
雑支出	760	286
営業外費用合計	3,483	3,238
経常利益	6,284	8,630
特別利益		
投資有価証券売却益	22	224
その他	520	116
特別利益合計	542	341
特別損失		
災害による損失	—	1,281
貸倒引当金繰入額	1,053	1,139
その他	2,272	591
特別損失合計	3,326	3,012
税金等調整前四半期純利益	3,499	5,959
法人税等	1,080	3,153
少数株主損益調整前四半期純利益	2,419	2,806
少数株主利益	202	332
四半期純利益	2,216	2,473

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,419	2,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,981	△275
繰延ヘッジ損益	△60	△13
為替換算調整勘定	△838	342
持分法適用会社に対する持分相当額	△139	△7
その他の包括利益合計	△3,020	45
四半期包括利益	△600	2,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△635	2,704
少数株主に係る四半期包括利益	34	148

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	保管物流 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	253,503	139,158	7,087	399,748	5,452	405,201	—	405,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,590	3,281	2,448	15,319	223	15,543	△15,543	—
計	263,093	142,439	9,535	415,068	5,675	420,744	△15,543	405,201
セグメント利益	3,243	5,952	337	9,532	470	10,002	△1,817	8,185

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業、ホテル業、包装梱包機等の製造販売業及び毛皮の製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,817百万円には、セグメント間取引消去177百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用が△1,994百万円含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	保管物流 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	251,634	140,277	7,326	399,238	3,100	402,339	—	402,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,918	3,145	2,582	16,646	207	16,854	△16,854	—
計	262,553	143,422	9,909	415,885	3,308	419,193	△16,854	402,339
セグメント利益	5,544	5,301	620	11,466	483	11,950	△1,744	10,205

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業、ホテル業及び毛皮の製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,744百万円には、セグメント間取引消去68百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用が△1,813百万円含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。